

卒業式に見る袴の現代的着装の研究I

著者名(日)	田中 淑江, 長谷川 紗織, 大塚 絵美子, 宮武 恵子
雑誌名	共立女子大学家政学部紀要
巻	61
ページ	11-47
発行年	2015-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1087/00002999/



卒業式に見る袴の現代的着装の研究 I

A study of wearing modern hakama at graduation ceremony I

田中淑江 長谷川紗織 大塚絵美子 宮武恵子

Yoshie TANAKA, Saori HASEGAWA, Emiko OTSUKA, Keiko MIYATAKE

1. はじめに

近年、和服を取り巻く環境に変化が生じている。例えば街行く人々の和服姿に目を向けると、正統派に和服を着装する人が見られる中、自由な発想で個性的な和服の着こなしをしている人も見られるようになった。また「美しいキモノ」に代表される正統派の和装雑誌が存在する中、若い世代をターゲットにした従来の和服雑誌には見られない着こなしを紹介する和装雑誌や本などの出版物が新しく発行されているのが現状である^{1) 2) 3) 4) 5) 6) 7)}。

このように和服において、昔ながらの伝統に則った着装や形式にとらわれることのない、新しい着装ルールの展開がされ始めている。このような状況の中、若い世代で和服の装いとして定着している女子大生の卒業式における袴の着装に着目した。日頃、思い思いのコーディネートでファッションを楽しんでいる学生は、この日だけは日ごろ馴染みない和服である袴をフォーマルな場である卒業式の服装として選ぶ。

本研究では卒業式の袴を学生はどのような基準で選び、そして装うのか。また和服に関する情報入手方法やその媒体、更に日頃の装いとの関係から分析することにより、現代の若い世代

が描く和服に対する期待やイメージを具体的に把握し、若者に求められる和服、更には今後求められる和服の在り方へと発展させた考察をすることを目的とする。

本研究の新規性は、伝統的な和服を対象とした調査研究を行う被服平面研究室と、現代ファッションを対象として商品企画及びデザインについて調査研究を行う被服意匠研究室の両研究室により異なる側面から袴の分析を行うことにある。両研究室の多面的分析により日本の伝統的袴の着装や袴の現代的着装の傾向や動向を的確に捉える事が出来る。

2. 研究方法

2014年3月15日に行われた共立女子大学の卒業式当日に被服学科学生66名の袴の着装姿を撮影した。撮影項目は1全身正面、2全身背面、3全身右側面、4上半身、5衿元、6足元、7頭部、8鞆、9ネイルの9カットである。この写真データを両研究室で共通資料とした(図1)。そしてここから袴のコーディネートに関する17項目(長着の種類・半衿・伊達衿等の小物類、帯、袴の種類など)と着装に関する6項目(衣紋の抜け方、衿合わせ、半衿の見え



1 全身正面

2 全身背面

3 全身右側面



4 上半身



5 衿元



6 足元



7 頭部



8 鞆



9 ネイル

図1 共通データ写真

卒業式に見る袴の現代的着装の研究 I

表 1 共通データの一部

項目	種類	種類																			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
長着	種類	3	3	3	3	3	3	3	3	5	4	3	4	5	3	4	4	4	3	4	4
	袖丈	2	2	3	2	1	2	1	1	1	2	1	4	2	1	4	4	2	2	3	4
	模様	1	1	4	1	1	1	1	1	1	1	3	1		1	1	1	1	1	1	1
	その他内容																				
	技法	4	4	1	4	4	4	8	8	1	4	4	8	1	2	1	1	1	4	1	1
	その他内容							染	染				染								
半袴	種類	1	2	2	2	2	2	1	2	1	1	1	2	1	2	1	2	1	1	2	1
	その他内容																				
伊達袴	有無	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
	種類	3	2	1	3		3	1	1	1	3	4	その他	1	1	3		1	1	1	3
	その他内容												ラインストーン								
帯	種類	3	3	2	3	2	3	2	3	2	3	3	2	2	2	2	2	3	3	3	2
帯締め	有無	2	2	1	2	2	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	内容			帯揚げ 水色					(つまみ 紐工)												
	長着との 関連性	2	2	2					1				2				2				
袴	種類	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
	刺繍	2	1	2	1	2	2	2	1	2	2	1	2	1	2	2	2	1	1	2	1
	模様	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1
	長着との 関連性	2	2	2	2				1			2		2				2	1		2
足元	種類	3	2	1	2	2	2	3	2	3	2	2	1	2	1	2	1	2	1	1	2
	その他内容																				
	足袋	6		1	6	6	6	6	6	6	6	6	1	6	5	6	1	6	1	1	6
袴	種類	4	1	3	2	2	2	3	5	1	2	4	1	1	1	1	1	5	1	4	3
	その他内容								ガマロ バッグ									ガマロ バッグ			
髪形	種類	1	4	2	1	3	1	4	1	4	2	2	1	4	3	2	1	2	2	1	1
	飾り	1	1	3	1	5	3	5	5	5	6	6	1	4	1	5	5	1	1	1	1
	その他内容					(ミニベ ル一層+結 み紐)	(つまみ 紐工)	(ベレ 一桁)	(つまみ 紐工)							(ビーズ の花+サ テン3 紐)	(つまみ 紐工)				
ネイル	有無	1	2	2	1	1	1	1	2	2	2	1		2	1	1	2	2	2	2	
その他 被飾品	有無	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	その他内容																				
着姿分析	衣紋	1	2	1	1	2	2	2	1	1	1	不明	1	2	2	1	2	1	1	1	1
	袴合わせ	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1
	袴の高さ	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1
	袴丈	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	不明	2
	補正	3	3	1	3	3	3	3	1	3	3	3	1	3	3	1	1	1	3	1	3
	不足部分	胸	胸		胸	胸		胸		胸	胸	胸・ウ エスト		肩	胸				ウエスト		ウエスト
	半幅帯の分量	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	2	2	2

方 (①前袴合わせと②後ろ袴中心位置)、半幅帯の見える分量、袴丈、補正) をそれぞれデータ化した (表 1)。

ここで袴姿の共通基礎知識として図 2 - 1、

2 を用いて名称を示す。数字①からは基本名称で、アルファベット A から E は着装で着目した箇所である。6 項目の最後は補正 F であるが図には示しにくいので省いた。

表 2 袴の着装に関する基準

項目	種類	装道きもの学院テキスト 高修皆修課程実技編	美しいキモノ	よくわかるきもの と着付けと帯結び	きもの教本
衣紋の分量		指 3～4 本分	衣紋を抜かず 後首に沿わせる	指 2～3 本程度	あまり抜かない
衿合わせ		やや深めに合わせる	のどのくぼみが隠れるよ う詰め気味に合わせる	×	きっちりと合わせる
半衿の分量 (前)		1～1.5cm	1.5cm 程度	1～1.5cm	×
半幅の分量 (後)		衿よりも 0.5cm 控える	×	長着から出ない程度 控える	×
半幅帯の分量		1～2cm	見えない	1cm	1cm
袴丈 (草履)		足の甲が見える程度	足の甲が見える程度	足の甲から 浮いている程度	くるぶし程度
袴丈 (ブーツ)		×	×	草履の時短く キリッと仕上げる	×
補正		胸元からウエストに かけてやや多めにする	×	×	×



図 2 - 1 袴姿の名称 (前面)



図 2 - 2 袴姿の名称 (側面)



図 3 - 1 A 衣紋



図 3 - 2 B 衿合わせ



図 3 - 3 C 半衿 (前面)



図 3 - 4 C 半衿 (背面)



図 3 - 5 D 半幅帯の見える分量

(図 3 - 3)、後ろ衿中心位置で表衿から出ていない(表衿より0.5cmほど控える)(図 3 - 4)、D 半幅帯の見え方は袴の前紐から均一幅で1cm程度(図 3 - 5)。E 袴丈は草履着用時では足の甲が見える程度(図 3 - 6)、ブーツ着用時ではくるぶしが見える程度とする(図 3 - 7)。F 補正は体の凹凸が目立たなく不自然な皺がないことを基準とした(図 3 - 8)。

論文構成は1. はじめに、2. 研究方法、3. 袴の概要、4. 袴の着装に見る現状分析、5. ファッション分析を基にした袴の着装、6. まとめとする。

論文担当箇所は、被服平面造形研究室が従来の伝統的着装方法との比較から分析し、論文構成4. 袴の着装に見る現状分析を執筆する。被服意匠研究室がファッション的概念で袴着用の実態分析を行い、5. ファッション分析を基にした袴の着装を執筆する。

袴の着装の分析をするために、基準となる着装を設定した。資料として用いたのは「装道きもの学院テキスト高修皆修課程実技編」⁸⁾「美しいキモノ No.123」⁹⁾「よくわかるきもの着付けと帯結び」¹⁰⁾「きもの教本」¹¹⁾である(表 2)。統一見解が得られない項目もあるが多数見解、類似見解、または記載が一つのをまとめて基準とした。A 衣紋は首から指 2 本程度(図 3 - 1)。B 衿合わせは深めに衿が合わせられ鎖骨のくぼみが隠れる程度(図 3 - 2)。C 半衿は前身頃の衿合わせの位置で1.5～2cm程度



図 3-6 E 袴丈 (草履着用時)



図 3-7 E 袴丈 (ブーツ着用時)



図 3-8 F 補正

3. 袴の概要

女子大生の卒業式の袴姿は「大正ロマン」、「はいからさんが通る」の花村紅緒¹²⁾など大正時代の女子学生が装う、矢緋の着物に胸高に着付けた袴、編上げの靴からイメージする傾向が見られる¹³⁾。ここでは女子学生の袴姿の服装史の変遷を述べる。

まず女学生の起こりは明治 5 年明治政府の「学制」発布により広く婦女子に教育が義務付けられたことに起因する。

女学生の衣服は明治という時代、世相の変化と共に紆余曲折し変動が見られた。初期には袴姿から和装へ、鹿鳴館時代には和装から洋装へ、鹿鳴館の衰退とともに洋装から和装へと変化し、女子改良服運動を経て袴姿が定着するという流れをくんでいる。

まず学制に伴い明治 5 年官立の東京女学校が開校された。この時女生徒にどのような服装をさせるかが問題になった。お茶の水女子大学百年史によれば

「文部省は「女子従前ノ衣服ニテハ教場向き不都合」であるから袴と羽織を着用させたいという「入学ノ女子著服ノ義ニ付伺」を太政官に

提出した。これまで士分男子（もしくはこれに準ずる豪農・豪商層）の服装であった羽織・袴を女子に着用させるのは「一躰ノ風俗」にかかわる重大事であったのでわざわざ太政官に伺を立てたのである。この伺いを審議した太政官左院は、羽織・袴では「男女ノ差別」が立たなくなるので、袴だけ許してはどうか、また「洋制ノ女服」も許してよいのではないか、という趣旨の上申を正院に提出した。この上申をうけて、正院は「伺ノ趣、袴ノミ着用致サシムベキコト」と文部省に指令したが「洋制の女服」についてはまったく言及しなかった。」¹⁴⁾（下線筆者）

ここで女学生の衣服として袴を用いることが正式に決まった。しかしその様子は縞の男袴を着装した不思議な格好と世間では思われていたようである¹⁵⁾。

その後東京女子学校は廃校となり、続いて文部省令により明治 8 年に東京女子師範学校が創設された。開校式当日の女生徒の装いを記した資料によると、「生徒は学校からの「おしきせ」というお揃いの着物と袴を支給されましたが、許可を受ければ自弁のきものでもよかったですので、千世はその日着物だけは自弁の亀綾という生地の鼠色の五つ紋付きに「おしきせ」の紺のあらいたて縞の小倉袴、髪はくずひき（約 1 センチ幅の白い紙の根がけ）をかけた唐人まげ、はきものは全生徒揃いの麻裏ぞうりでした。袴のしたてはマチをずっと低くしてあっただけで、あとは男物と同じでした。ほとんどの生徒が縞もので、このころは紋付きでも女は黒を着ることはなかったのです。」¹⁶⁾

開校式では官給による紺の粗い縞の袴が低い位置にある男物の小倉袴を着装していた様子が見える。男袴には縞入りと縞無の袴があるが、ここでは縞入りの袴が用いられていた。現在女袴として用いられるのは縞の無い行燈袴であるが、その当時は女性用の袴としてまだ使用されていなかった。

同 8 年には跡見花蹊（1840～1926）が創設した跡見学校では紫紺の行燈袴（縞無）を用い

ることとした。

この袴の制定にあたり皇后（昭憲皇太后）陛下の御内示を受けたとされている¹⁷⁾。花蹊は宮中に関係があったので¹⁸⁾ 宮中の緋の袴から発想を得て、高尚で優美さらに機能性を備えた女学生の制服として縞無しのスカート状行燈袴が女袴として採用された。跡見学校の袴姿は、官立の東京女子師範学校が用いた男袴とは対照的な優雅な女性らしい装いであり、以後、紫の袴からスマイレ女史として特別な位置付けを誇った。

続いて明治 18 年に学習院女子部から分離し開校した華族女学校では、設立当初「服装心得」が示された¹⁹⁾。

一、本校ノ生徒タルモノハ袴ヲ着シ靴ヲ穿クベシ

一、表衣は随意トス

一、袴は縞ヲ除クノ外、色目・地紋随意タルベシ

一、結髪は随意タリ

一、西洋服ニテモ苦シカラズ

上記のように袴の着用が示された。同校の袴は、学監下田歌子（1854～1936）が考案したものである。下田歌子も前述の跡見花蹊と同じ宮中経験者である。その見地からこの示された袴は上流階級の女子のための衣服として、宮中の緋の袴と指貫とを折衷して儀礼性や機能性を考慮したものであった。袴は縞を除く他、色目地紋は自由とされていたが、次第に海老茶を多く用いるようになった²⁰⁾といわれている。同校の袴に靴を履いたスタイルは、その後女学生の定番スタイルへと発展していった。

特に明治 32 年（1899）年に高等女学校令が公布され女子教育の拡大に伴い、女学生の袴姿は一気に拡大し、普及した²¹⁾。

また明治 30 年代は「ハイカラな時代」であり²²⁾ 女学生は小説のヒロインとして登場する『魔風恋風』のヒロインは

鈴の音高く、見はれたのはすらりとした肩の滑り、デートン色の自転車に海老茶の袴、髪は

結流しにして、白リボン清く、着物矢絣の風通、袖長ければ風に靡いて……²³⁾

と表現され、また同じく小説「青春」のヒロインは以下のように記される。

前髪を暴に押潰したような束髪に桃色のリボン、鼠に阿納戸の亂立の糸織の被風を着て、海老茶のカシミヤの袴を稍短目に、黒靴下の細りした足頸に靴の編上を銜込ませて……²⁴⁾

当時の女学生は「海老茶の袴」「矢絣の着物」「編み上げの靴」「束髪にリボン」など、はいからな様子が表現されている。以後この姿は大正へと受け継がれていく。

一方当時、式服として定められた衣服も存在する。例えば跡見女学校では明治 32 年 (1889) に生徒の式日の正服を上着は黒木綿五つ紋を礼服とし、紫の袴を着用することが規定された²⁵⁾。

- | | | |
|-------|--------------|-----------------|
| 1. 上着 | 黒地五つ紋 (模様なし) | 地質木綿 |
| 1. 下着 | 同 | 地質キャロコ |
| 1. 袴 | 紫地 | 同 地質メリンス又はカシミヤ類 |

また地方の岡山県立岡山高等女学校では平常服と式服の区別がされ「長着は無地木綿紋服を着用する……」などと「生徒の服装の心得」に定められた²⁶⁾。1900 - 1910 年代に服装規定が定められた女学校では、式日の礼服は黒木綿の紋付きとされたようである²⁷⁾。

このようにして日常着としての女学生の袴姿は、袴の着用と袴下の長着は校則にも見られるように自由であったので矢絣などの絣模様や小紋などが用いられ、式服では黒紋付きの長着と定められそれぞれ区別され着用されていた。

以上、明治時代に成立した女学生の女袴姿は政治、教育、世相の話題の的となり、女子の服装史に大きな足跡を残した。またこの時期に着用された平服時の袴姿は現代の女子大生が憧れを抱く卒業式における袴姿の源流となっている。

4. 袴の着装に見る現状分析

4-1. 研究目的

現代の女子大生の卒業式の服装は袴姿に定着したといえる。袴姿の現状を把握し、従来の袴着姿との違いからそれが何に起因するのかを考察することを目的とする。

従来の女子大生及び女子学生の袴に関する研究は、服装史的視点から袴の変遷を捉えるものが主流である²⁸⁾。唯一女子大生の卒業式における袴の着装実例をアンケート調査により分析したものに、呑山、都築「女袴と卒業式の服装」²⁹⁾を挙げることが出来る。ここでは卒業式当日にアンケートで卒業式の服装について、服種、色、調達方法、費用、当日の服装についての感想などを調査項目として検討を行っている。

本研究では、本学の卒業式当日の学生の袴着姿の写真データの裏付けのために、予備調査として質問紙解答法によるアンケートの調査を実施した。これらの資料を用い従来の伝統的着装方法との比較、袴のコーディネート、袴着姿の意識などの視点から傾向を把握し、その結果をもとに本学の袴着姿の特徴や意識のあり方の考察を行う。

4-2. 研究結果

(1) 共通写真データによる分析

①袴の着装に用いられた和服と和装小物の分析
まず、袴下に着用された長着に注目する。長着の種類は大きく分けると小紋と振袖が上位を占め主流であった。他には附下と色無地が僅かに見られた^{注1)}(表 3)。長着の傾向は華やかなものが主流であることを示した。長着の模様では一般的に多く用いられる植物模様が大半を占めていた。長着の袖丈は小振袖が主流であり(図 4 - 1)、次いで普通袖(図 4 - 2)、大振袖(図 4 - 3)の順となった^{注2)}(表 4)。

袴の種類では、無地の袴が約半数を占めた。次いで刺繍入りが約 3 割を占め、グラデーショ、地紋がそれぞれ 1 割となった(表 5)。

表 3 長着の種類

長着の種類	人数	割合 (%)
小紋	32	48
振袖	30	45
付け下げ	3	5
色無地	1	2
計	66	100

表 4 袖の種類

袖の種類	人数	割合 (%)
普通袖	17	26
小振袖	27	41
大振袖	13	20
中振袖	9	14
計	66	100

表 5 袴の種類

袴の種類	人数	割合 (%)
無地	30	45
グラデーション	8	12
刺繍	22	33
地紋	6	9
計	66	100

無地を選択する傾向と、刺繍の模様装飾や地紋、グラデーションなど変化のある華やかな袴を選択する傾向とが半々であった。

次に小物類を着装姿の身体上部からとり挙げる。まず半衿の種類は、白の無地と刺繍入りの半衿がほぼ類似の 5 割弱を占め主流であった。少数ではあるがレースの施された半衿 (図 5 - 1) や染やプリントで模様付された半衿 (図

5 - 2) の着用も見受けられた。

伊達衿は半数の学生に使用がみられた。伊達衿の種類に着目すると単色の無地が 6 割を占め (図 6 - 1)、次いで 2 色の無地が 2 割であった (図 6 - 2)。少数であるが柄の施された伊達衿 (図 6 - 3) や 3 色重ねの伊達衿 (図 6 - 4)、縁にラインストーンの施されている伊達衿 (図 6 - 5) も見受けられた。



図 4 - 1 小振袖



図 4 - 2 普通袖



図 4 - 3 大振袖



図 5 - 1 レースの半衿



図 5 - 2 染による絵付けの半衿

半幅帯は見える分量は少ないが、袴や長着のアクセントとなる色を使用し華やかな袴姿や、同色を用いるとすっきりとした袴姿を印象づける小物の一つである。コーディネートアクセントとなる色の半幅帯(図7-1)を使用していた学生は約9割で主流であった。長着または袴と同色の半幅帯(図7-2)を使用している学生は約1割であった。これらの半幅

帯の中で柄のある半幅帯(図7-3)を使用している学生は半数近くみられた。

履物はブーツと草履がそれぞれほぼ半数を占めており主流であった。少数派では、パンプスやローファーの着用が見られた。

前述の草履着用者は白足袋を用いるのが主流であるが、少数ではあるが総柄足袋(図8-1)やレース足袋(図8-2)、ワンポイントの模



図6-1 単色無地の伊達袴



図6-2 2色無地の伊達袴



図6-3 柄入りの伊達袴



図6-4 3色の伊達袴



図6-5 ラインストーンが施された伊達袴



図7-1 アクセントとなる色の半幅帯



図7-2 同色の半幅帯



図7-3 柄のある半幅帯

様がある白足袋(図8-3)の着用が見られた。一方ブーツや靴の着用者はタイツや靴下を着用しており足袋を着用していなかった。

鞆の種類は和装用ハンドバックが一番多く、次いで巾着、洋装用鞆であった。このほかに風呂敷バック(図9-1)や着古した帯を仕立て替えたクラッチバック(図9-2)も見られた。

上記以外の装飾品としてはベレー帽(図10-1)やレースのグローブの着用(図10-2)、袴にチェーン(図10-3)や造花等の和装とは異なる洋装の装飾品が見られた。

②袴の着装6項目の分析

まず衣紋の抜き具合だが、普段着は指3本

ほど首より離すが、式服の場合は指2本程度首より離れた首に沿わせた状態が基準である。この傾向を示した学生は2割程度である。残りの8割の学生は衣紋が指3本以上抜けていた。その中にはこぶしが入る程多く抜かれている者もいた(図11)。

衿合わせでは8割の学生は鎖骨のくぼみを隠すという基準(図12)を満たしていた。前述のように、衣紋を多く抜く傾向にあるため必然的に衿元が詰まるので、基準に沿った着装になると考えられる。

半衿の見える基準は、前衿合わせ箇所ですら1cm程度であるが基準を満たしている学生は32%であった。多くの学生は左右で見える量が異なる非対称の衿合わせであった。(図13)ま



図8-1 総柄足袋



図8-2 レース足袋



図8-3 ワンポイントの模様がある足袋



図9-1 風呂敷バック



図9-2 着古した帯を仕立て変えたクラッチバック



図 10-1 ベレー帽



図 10-2 レースのグローブ



図 10-3 チェーンの装飾品



図 11 左:袴着用の衣紋 右:多く抜かれた衣紋



図 12 左:袴着用の衿合わせ 右:浅く合わせられた衿合わせ



図 13 左:基準の半衿の見える分量 右:左右非対称の半衿

た後衿中心で半衿は長着の衿より 0.5 cm 控えられるのが基準であるが、基準値を示したのは約 4 割で、半数以上は基準満たさず、半衿が長着の衿よりも出ている状態であった (図 14)。

半幅帯の見える分量については、基準は 1 cm 程度としたが、基準値を示した学生は 2 割弱であった。また紐から見える半幅帯の幅は一定ではなく、不均一な場合が多く 2 ~ 3 cm 見えている学生が 7 割を占めた。(図 15) 半衿は左右非対称で、半幅帯の見え方は不均一な幅での着付けが多く、細部まで丁寧な着付けの必要性を示した。

袴丈の基準は草履着用者の場合足の甲が見え

る程度が基準であるが、基準を満たしていた学生は約 2 割、足の甲が見えない長い袴丈の学生は約 6 割、袴丈が短いくるぶし丈の学生は約 2 割であった (図 16)。ブーツ着用者の基準はくるぶしが見える程度であるが、基準値の学生は約 4 割、くるぶしより下の袴丈が長めの学生は約 6 割であった (図 17)。草履、ブーツの着用に関わらず袴丈が長めに着用される傾向が見られた。

補正は適当であったのが約 2 割、不足部分がありが約 8 割であった。多くの学生はみぞおちや肩の補正が足りず、体の凹凸がそのままシルエットとして出ており、胸のあたりに皺が生じていた (図 18)。

このように着付けに関する分析結果からは、適切な袴の選択が出来ていないことがうかがえる。半幅帯の分量と袴丈の関係を見てみると、どちらも適切な位置・分量で着装を行っている学生は少ない。半幅帯の見える分量が多く袴丈が短い場合や、半幅帯の見える分量が少な



図14 左：後衿中心で控えられた半袴
右：長着から出ている半袴



図15 左：均一幅の半幅帯
右：不均一な幅の半幅帯



図16 左：基準の袴丈（草履） 中央：足の甲が見えない袴丈 右：くるぶし丈

く袴丈が長い場合などは着用者の寸法に適していないことが考えられる。女性用の長着はおはしより分が含まれるため、ある程度の丈の調整が可能である。一方袴は構造上袴丈にゆとり分を加えず、着用者本人の着丈に合わせて仕立てるため、丈の調整が出来ない。また着用の機会がほとんどない袴はレンタルや既製品を使用することが多く、大まかなサイズで区分され、自

分の着丈に最適な袴を選択することは難しい。さらに袴丈だけが要因ではなく、着付けに関する定義が統一されていないことが半幅帯の見え方や袴丈の不均一の要因の一つではないかとも考えられる。本調査の基準では草履着用時は足の甲が見える程度、ブーツ着用時はくるぶしが見える程度とした。しかし資料ごとに記載内容が異なる場合があることや、ブーツ着用時の袴



図 17 左：基準の袴丈（ブーツ） 中央：くるぶしより上の袴丈 右：くるぶしよりも長い袴丈



図 18 左：適当な補正 右：補正がされていない

丈については「草履着用時の袴丈よりも短く」など、明確な丈が記載されていないものも見られる。このように着付けをする側の感覚に任せる曖昧な部分があるため統一の無い着付けが多くみられたのではないかと推察する。

(2) 先行研究との比較

先行研究である 1992 年に大妻女子大学で行われた調査³⁰⁾と本調査の比較を行う。まず長着の着装の傾向では、先行研究では色無地が 58.2% 訪問着 20.4%、振袖が 5.3% であり、色無地が主流であった。本調査では小紋が 48%、振袖が 45% であり、合計で全体の 9 割を占めている。先行研究では少数派であった振袖は本調査においては増加傾向を示し、主流であった色無地が減少し、本調査では 1% となった。両者の比較により袴下となる長着の選択傾向に変化が生じたことが明らかとなった。先行研究が



図19 1996年度共立女子大学卒業式写真

ら本研究へと年数を経て卒業式の袴姿の定義及び認識も同様に変化をしたのか否かを、先行研究の約10年前、先行研究の年、本調査の2年前に出版された資料で検討する。

先行研究の約10年前では、1983年の『美しいキモノ』³¹⁾の袴の特集には「袴の着用に当たり色無地が一般的」とされていた。この時点では色無地が正しい装いとして認識されていることが分かる。同じ特集の中に小紋を用いた袴の装いが紹介されている。

先行研究と同時期である1992年版の『和服・平面構成の基礎と実際-』³²⁾には「女子が礼装として袴を用いる時はやはり格調高い紋付無地の長着が適している。矢絰は普段用でありまた振袖もふさわしくない」とここでは紋付無地を格調高い袴下の長着として掲示している。実際に1996年の本学での袴の装いを見てみると袴着用者55人中32人が色無地を着用しており

小紋や振袖は少数派である(図19)。

先行研究から約20年後の2012年『美しいキモノ』No.240の付録冊子³³⁾では「振袖、訪問着、付けさげ、色無地、小紋などに袴などをつけることができます。」と記載されている。また同冊子には「卒業式は式典の礼服ですから、しゃれ味の強い紬や遊び要素のあるものは避けましょう。」とも記載されている。

このように袴の着用について述べている資料からも袴下に着用する長着の選択が色無地から華やかな模様が施される振袖や訪問着、小紋へと変化していることが示された。現代における袴姿は、袴下の長着には振袖から小紋まで幅広く着用することが出来るが、式典の場における式服の装いであるため、品格をなくすような装いはふさわしくないと認識されている。したがって本調査から見た長着の傾向は、資料の示す結果と合致しており世の中の認識が変化した

ことにより、学生が選ぶ袴下の長着の選択も変化したことが明らかとなった。

(3) 予備調査アンケートとの比較

予備調査のアンケートは、現代の若者の式服に対する意識を顕著に示した。まず学生に袴のコーディネートでは、式服の装いとファッションの装いのどちらを重視したのか尋ねたところ、式服を重視した学生は 4 割であった。その理由を自由記述で尋ねたところ「正式な格好で参加したかったから」「場違いになりたくなかったから」との回答が挙げられた。ファッションを重視した学生の理由では「式服ではあるが、自分らしさを表現したい」「華やかな方がよいから」などの回答が挙げられた。次に学生に正当な式服としての袴姿を知っているかを尋ねたところ、9 割の学生は知らないと回答をした。知っていると答えた学生に知っている内容を問うたところ、「衣紋を抜きすぎない」、「半衿は白」という回答が挙げられた。この結果から学生は式服を身につけたいと考えているが、式服についてほとんど知識を持っていないという事実がわかった。

またこのアンケートから大振袖の着用者のほとんどは成人式に購入したものを着用していた。要因としては、成人式のために購入したが着用の機会は少なく、せっかく持っているのだから振袖を活用したいという意識があるのではないかと考えられる。また振袖を購入した際、袴もセットでついてくる場合や、購入店で安価に袴をレンタルが出来るということも判明し、このような特典の特徴も振袖の着用に影響を与えていると推察する。

さらに普通袖の小紋の着用者には、授業で制作した長着を着用する学生が見られた。自分の好みに合致する反物で制作した作品を、身につけたいという意識があることがうかがえる。またアンケートからも同様の意見が見られた。長着や袴等自分で制作した作品を身につけることは、和裁実技の授業が存在する本校の特徴の一

つとして挙げられるのではないのだろうか。

4-3. 考察

近年着物離れが進み、着付け教室や授業等の特別な場でなければ、和服に関する知識を学ぶ機会がない。また儀式的な場面でのみの着用が増え、日常を通しての着物知識の継承がなされなくなっていると考えられる。また学生は、袴に関する情報を収集する際、インターネットや家族、友人を頼っている。着物離れが進む現代において、家族や友人の中で和服に関する知識が豊富にあるというのは、限られた人であると考えられる。それに加え、レンタル店を利用する場合、対応した店員の好みも少なからず反映されていると考えられる。ある程度の和服に関する決まりを踏まえた上でのアドバイスや提案が行われているが、個人の有する知識に差はあるだろう。着用者だけでなく助言を行う周囲の人々も伝統的な袴姿の認識が薄れているため、式服としてのルールよりも、自分に似合うかどうかにより焦点が当てられてしまっている。更にここ数年の間に自由な発想で個性的な和服の着こなしが普及し始め、着物は自由に楽しんでよいという風潮が見られる。そのため日常着としての装いが、儀式的な場における装いにまで混同されているように見受けられる。またインターネットで袴姿の情報を収集するが、式服のきちんとした知識がないため、式服、日常服の区別なく自分の好みに合致する装いを参考にしてしまうのではないだろうか。そのためシンプルに品よく式服として着こなすより、長着、袴、小物類などに華やかなものを選択し、飾り立てるように袴姿を作り上げる傾向が見られるようになったのではないかと推察する。

このほかにも着付けに関してはばらつきが多く、資料を参考に定めた基準に近い学生は数名しかおらず、基準をすべて満たしている学生は見られなかった。それ以外の学生は本来の様式からかけ離れていた。

以上のことにより本調査では長着の種類など

は現代の卒業式の式服としての定義に合致しているが、過剰に飾り立てすぎる様子は式服としての定義と合致していない。また着付けは資料により定義される基準が異なるため、統一的な見解がないまま個人の判断に任されている部分が多いことが明らかとなった。

これらの傾向の多くは、長着の選択から着付けに至るまで本人はもとより家族や友人、レンタル店員、着付けをする人すべてにおいて伝統的な基準や認識が薄れてきているため、このような結果となったのではないかと。よって伝統的認識を共有できる環境を整えていくことが今後の課題として挙げられる。

5. ファッション分析を基にした袴の着装

5-1. 研究目的

2004年の「女子学生のファッション雑誌に基づいたファッション意識についての研究」から発展して2007年から本格化したファッションビジネス学会関西支部マーケティング論部会における研究「ファッション系女子学生のファッション意識に関するアンケート調査」では、女子大学生の指示するブランドや雑誌、情報収集の取り方等の分析を行っている^{34) 35) 36) 37)}。毎年平均して約700名の調査で2014年度は約1000名のアンケート集計ができる予定である。アンケート項目である「購入している好きなブランド」「購読しているファッション雑誌」等の結果は、継続的に人気のあるブランドや雑誌を把握し、一方で新しい現象も捉える事ができ、消費者の実態を探る上では学術的及び実務的にも活用できる資料となっている。特に継続的に行ってきた結果としてこれらの推移を把握することは、次の流行の兆しを読み取るのに有効であると考えている。9年間実行してきた調査からは、女子学生がファッションに対して興味を持ち、楽しんでいる事が垣間見える。

このアンケートの対象としている女子学生の多くは、卒業するための式典である卒業式にお

いては、日頃着用している洋服では無く袴を選択していることは、本学の調査の事例でも理解できる。昨年度の被服学科の卒業生では、袴着用率は全体の約97%にまで達している。

被服意匠研究室では、実際に展開する商品企画を実行するために、最新・継続・衰退するトレンドを読み取る研究を継続している。この利点を生かして、袴着用の実態分析として、継続研究を行ってきたファッション分析の概念で本データを考察することを本項の目的とする。ここで論じているファッションとは、被服に関する流行の様相として、服装^{注3)}やコーディネイト^{注4)}等の全体の雰囲気やイメージ^{注5)}を表す服飾表現の言葉としている。

女子学生の日常の装いに関する情報収集としてファッション雑誌やカタログ等の紙媒体や、最近ではインターネットやSNS (social networking service の略) 等の情報は重要である³⁸⁾。では、「袴着用の情報は、どのように女子学生に提供されているのか」「袴の装いに流行はあるのか」「情報は、流行を牽引しているのではないか」「日頃着用している衣服に関する志向と袴着用の着想の特異性はあるのか」「今後の袴の装いの方向性の兆しを読み取ることはできるか」と6つの課題を持って、女子学生の卒業式すなわちフォーマルの場への着装表現の分析を行い考察していく。

5-2. 研究方法

研究方法として2つの視点で分析していく。一つ目は、2014年3月卒業生を対象とした袴のレンタル用のカタログの「はかま」³⁹⁾、「卒業時装」⁴⁰⁾、「Hakama」⁴¹⁾の3冊を資料として構成・提案の仕方、袴の装いの掲載についてデータ化する(表6)。二つ目は、本学学生の分析で、3冊のカタログの提案を比較しながら全体の傾向を分析するとともに日頃の装いと照らし合わせてクラスター分析を行い、袴の装いについてデータ化する(表7)。

分析のための項目を設定するために、2つの

予備調査を行った(以下:予備調査①、予備調査②)。そして、その予備調査から導きだした項目を裏付けする意味でカタログ媒体を用いて調査を行った(以下:裏付け調査)。

予備調査①は、本学大学院修士課程・博士課程在学の10名に卒業生の袴の装いの資料を写真で提示し、その特徴などを自由に発言してもらいブレーストーミングを行った。予備調査②は、被服学科4年生の3名に前述したカタログ3冊を用いてモデルが着用している袴の着装全てを対象に、着装の印象について調査を行い、その結果を導き出した理由などを含めてブレーストーミングを行った。2つの予備調査はブレーストーミングとともに参与観察手法を用いている。参与観察とは、女子学生のアンケート調査と同様に継続的に実行している研究手法で、調査者が女子学生の集団に参加して時間を共有し、雑談を通してライフスタイルの情報を把握していく。調査の利点は、ファッション、テレビ、雑誌、アイドル、映画、ショッピング、美容、恋愛、遊び、勉強等の幅広く興味のある分野、将来の事や育ってきた環境等、様々な情報を吸収する。また観察対象者は長時間過ごすことで心を開き友人のように相談事をするようになってくるなどの情報収集が可能である。時には、ファッション・スタイルの現状を把握するために、毎日の通学スタイルを写真撮影し、ワードローブ、着まわし、着用しているブランド、服飾雑貨についての調査も実施する。これらの調査・分析から、表層的な情報収集にとどまらずに実態を探ることができる手法である⁴²⁾。

裏付け調査は、予備調査①②の結果から抽出できた項目について、最近出版された袴のコーディネートを紹介している「カジュアル着物ブック」⁴³⁾「いまだき振り袖ガールのつくりかた」⁴⁴⁾「振り袖&袴の大正着物帖」⁴⁵⁾と和服を好む若い女性の指示が高い「KIMONO 姫」^{46) 47)}で使われている言葉や表現と照らし合わせて、総合的に判断した。分析対象は、着物・袴・パツ

表 6 カタログの分析データ

「はかま」

見出し	頁数	キャッチコピー	番号	着物	袴	バッグ	足元	頭
maomao	3		1	和風	和風		和風	和風
			2	和風	和風	和風	和風	和風
			3	和風	和風		和風	和風
			4	洋風	和風		和風	和風
			5	ミックス	和風		和風	和風
WA Japanesetokazama Style	8	晴れの日を森 敵な袴姿で 迎えたい。	6	和風	和風			洋風
			7	和風	和風		和風	洋風
			8	和風	洋風		和風	洋風
			9	和風	和風	和風	和風	洋風
			10	和風	和風		和風	洋風
			11	和風	和風	和風	和風	洋風
			12	和風	和風	和風	洋風	洋風
			13	和風	和風			洋風
			14	和風	和風	和風	和風	洋風
			15	和風	和風	和風	和風	洋風
			16	和風	和風			洋風
			17	和風	和風			洋風
			絵本の世界	6	ドアの向こう 夢の国へ。	18	和風	和風
19	洋風	洋風						洋風
20	ミックス	和風					和風	洋風
21	和風	和風				和風	和風	洋風
22	和風	和風						洋風
23	和風	和風					和風	洋風
24	和風	和風				和風		洋風
25	洋風	洋風					洋風	洋風
26	ミックス	洋風						洋風
27	和風	和風				和風	洋風	洋風
28	ミックス	和風					和風	洋風
29	ミックス	和風						洋風
30	洋風	和風						洋風
31	和風	和風					和風	洋風
The Sweet Happy Day	6	探していたの は笑顔を誘う 森敵な袴ス タイル	32	和風	洋風			洋風
			33	洋風	和風	和風	和風	洋風
			34	ミックス	和風		洋風	洋風
			35	ミックス	洋風			洋風
			36	和風	和風			洋風
			37	ミックス	和風			洋風
			38	ミックス	洋風			洋風
			39	ミックス	洋風			洋風
			40	洋風	和風		和風	洋風
			41	和風	和風	和風	洋風	洋風
			42	和風	和風		和風	洋風
甘々プリティ	2		43	ミックス	洋風		和風	洋風
			44	和風	和風		和風	洋風
			45	和風	和風		和風	洋風
			46	和風	洋風		洋風	洋風
爽快クール	2		47	洋風	洋風		和風	和風
			48	ミックス	和風	和風	洋風	洋風
			49	ミックス	洋風		和風	洋風
個性派 インパクト	2		50	ミックス	和風		和風	和風
			51	和風	和風		和風	洋風
			52	和風	洋風		洋風	洋風
			53	和風	和風		和風	洋風

卒業式に見る袴の現代的着装の研究 I

【卒業時装】

見出し	頁数	キャッチコピー	番号	着物	袴	バッグ	足元	頭
AlisaStyle	4	この気持ちを未来への輝きへ	54	和風	和風		和風	洋風
		華やかさに輝とした気品を添えて	55	洋風	洋風			洋風
		卒業の日を優雅に彩る爽のオーラ	56	洋風	洋風		洋風	洋風
大正ロマンに思いを馳せて	8	憧れの袴スタイル叶えます。	57	洋風	洋風		和風	洋風
			58	和風	和風		洋風	洋風
			59	ミックス	和風		和風	洋風
			60	ミックス	和風		和風	洋風
			61	和風	和風		洋風	洋風
			62	ミックス	和風		和風	洋風
			63	和風	和風		洋風	洋風
			64	和風	和風		洋風	洋風
			65	洋風	和風		和風	洋風
			66	和風	和風			洋風
			67	洋風	和風		洋風	洋風
			68	和風	和風		和風	洋風
			69	和風	和風		和風	洋風
			70	和風	和風		和風	洋風
Modern&Girlyな乙女ハカマ術 大公開!	7		71	和風	ミックス		和風	洋風
			72	和風	和風		和風	洋風
			73	和風	和風		洋風	洋風
			74	和風	和風		洋風	洋風
			75	和風	和風		和風	洋風
			76	和風	和風		和風	洋風
			77	洋風	和風		洋風	洋風
			78	洋風	洋風		和風	洋風
			79	和風	和風		和風	洋風
			80	和風	和風		洋風	洋風
和エレガントでクールに決める 百花缭乱	7		81	和風	和風		和風	洋風
			82	ミックス	和風		和風	洋風
			83	洋風	和風		和風	洋風
			84	和風	和風		洋風	洋風
			85	和風	和風		洋風	洋風
			86	和風	和風		和風	洋風
			87	和風	和風		洋風	洋風
			88	和風	和風		和風	洋風
			89	洋風	和風		和風	洋風
			90	和風	和風		和風	洋風
			91	和風	和風		和風	洋風

【Hakama】

見出し	頁数	キャッチコピー	番号	着物	袴	バッグ	足元	頭
袴浪漫	6	時代を超えて、今も変わらない輝とした美しさ。	92	ミックス	和風		和風	洋風
		93	和風	和風			洋風	
		94	洋風	和風			洋風	
		95	和風	洋風			洋風	
		96	和風	洋風			洋風	
		97	和風	洋風		和風	洋風	
		98	ミックス	和風			洋風	
		99	和風	和風			洋風	
		100	和風	洋風			和風	
		101	洋風	和風			洋風	

笑顔があふれるハビネス袴コレクション	6	gorgeous	102	和風	和風			洋風
			103	ミックス	和風			洋風
			104	和風	和風		洋風	和風
		Dressy	105	和風	洋風		洋風	和風
			106	ミックス	和風		洋風	洋風
			107	和風	和風		和風	洋風
		Elegant	108	和風	和風			洋風
			109	洋風	和風			洋風
			110	和風	和風			洋風
			111	ミックス	洋風			洋風
			112	ミックス	和風			和風
		レンタル袴の選び方	2	113	和風	和風	和風	
114	ミックス			和風	和風	洋風	和風	
115	和風			和風	和風	洋風	洋風	
116	和風			和風		和風	和風	
117	ミックス			和風		和風	洋風	
118	ミックス			和風		和風	和風	
	5	119	和風	和風	和風	洋風	洋風	
		120	和風	和風	和風	洋風	和風	
		121	洋風	和風	和風	和風	洋風	
		122	和風	和風			洋風	
		123	和風	洋風	和風		洋風	
		124	和風	和風	和風		洋風	
		125	和風	和風			洋風	
		126	和風	和風			洋風	
		127	和風	和風		和風	和風	
		128	ミックス	和風		洋風	洋風	
		129	和風	洋		洋風	洋風	
		130	ミックス	洋風		和風	洋風	
		131	ミックス	洋風		洋風	洋風	
		132	和風	和風		和風	洋風	
133	和風	和風	和風	和風	和風			
134	和風	和風		洋風	和風			
135	和風	和風		洋風	洋風			
136	和風	和風		和風	洋風			
137	和風	和風		洋風	和風			
138	和風	和風		和風	洋風			
139	和風	洋風	和風	和風	和風			
140	洋風	洋風		洋風	和風			
141	和風	和風			洋風			
142	和風	和風		和風	洋風			
143	洋風	和風		洋風	洋風			
144	和風	和風		和風	洋風			
145	ミックス	和風		洋風	洋風			
146	和風	和風		和風	洋風			
147	ミックス	和風		和風	和風			
148	洋風	和風		和風	洋風			
149	洋風	和風		洋風	洋風			
150	洋風	和風		洋風	和風			
151	和風	和風		和風	和風			
152	ミックス	和風		洋風	和風			
153	ミックス	和風	和風	和風	洋風			
154	和風	和風		和風	洋風			
155	ミックス	和風		洋風	洋風			
156	和風	和風		和風	洋風			
157	和風	和風		和風	洋風			
158	和風	和風		洋風	洋風			
159	和風	和風		和風	和風			
160	和風	和風		洋風	洋風			
161	洋風	和風		洋風	洋風			
袴で卒業式 Perfect Manual	2	162	和風	和風			洋風	
		163	洋風	洋風			洋風	
		164	ミックス	和風		和風	洋風	
		165	洋風	和風			洋風	
		166	和風	和風			和風	

表 7 学生の分析データ (クラスター分析を含む)

番号	クラスター	着物	柄	バッグ	足元		頭
					分類	種類	
1	ゴスロリ系	ミックス	和風		洋風	パンプス	洋風
2	ノンポリ系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
3	モード系	和風	和風	洋風	和風	草履	和風
4	混在系	洋風	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
5	ストリート系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
6	混在系	ミックス	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
7	ストリート系	和風	和風	洋風	洋風	ローファー	洋風
8	ノンポリ系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
9	混在系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
10	混在系	洋風	和風	和風	洋風		和風
11	混在系	和風	洋風		洋風	ブーツ	和風
12	萌え・ギャル系	洋風	和風	和風	和風	草履	洋風
13	混在系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
14	ストリート系	和風	和風	和風	ミックス	草履	和風
15	萌え・ギャル系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
16	萌え・ギャル系	和風	和風	和風	和風	草履	洋風
17	混在系	ミックス	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
18	ノンポリ系	和風	和風	和風	和風	草履	和風
19	ノンポリ系	和風	和風	和風	和風	草履	和風
20	混在系	和風	和風	洋風	洋風	ブーツ	洋風
21	萌え・ギャル系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
22	混在系	和風	洋風		和風	草履	洋風
23	萌え・ギャル系	和風	和風	洋風	和風	草履	洋風
24	萌え・ギャル系	和風	和風	和風	和風	草履	洋風
25	ストリート系	和風	和風	和風	和風	草履	洋風
26	ゴスロリ系	和風	洋風		洋風	ブーツ	和風
27	ストリート系	和風	洋風	和風	和風	草履	和風
28	ノンポリ系	和風	和風	和風	和風	草履	和風
29	ノンポリ系	ミックス	和風	洋風	洋風	ブーツ	和風
30	ストリート系	和風	和風	和風	和風	草履	洋風
31	ノンポリ系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
32	ノンポリ系	和風	洋風	和風	和風	草履	洋風
33	混在系	洋風	洋風	和風	洋風	ブーツ	和風
34	萌え・ギャル系	ミックス	洋風	洋風	和風	草履	洋風
35	ノンポリ系	和風	和風	和風	和風	草履	洋風
36	萌え・ギャル系	和風	和風		洋風	ブーツ	和風
37	混在系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
38	萌え・ギャル系	ミックス	和風	和風	和風	草履	和風
39	萌え・ギャル系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
40	混在系	ミックス	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
41	混在系	和風	和風	和風	和風	草履	洋風
42	混在系	和風	和風	和風	和風	草履	洋風
43	ストリート系	洋風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
44	ノンポリ系	ミックス	和風	洋風	和風	草履	洋風
45	ストリート系	洋風	和風	和風	洋風	ブーツ	和風
46	萌え・ギャル系	和風	和風		和風	草履	和風
47	ノンポリ系	和風	和風		和風	草履	洋風
48	萌え・ギャル系	洋風	和風		洋風	ブーツ	洋風
49	ノンポリ系	和風	洋風	洋風	和風	草履	和風
50	萌え・ギャル系	洋風	和風		洋風	ブーツ	洋風
51	混在系	和風	和風	和風	和風	草履	和風
52	ノンポリ系	和風	和風	洋風	洋風	ブーツ	和風

53	萌え・ギャル系	和風	和風	和風	和風	草履	洋風
54	ストリート系	洋風	和風		洋風	ブーツ	和風
55	混在系	洋風	和風		洋風	ブーツ	洋風
56	萌え・ギャル系	和風	和風		洋風	ブーツ	和風
57	ノンポリ系	和風	和風	和風	和風	草履	和風
58	ノンポリ系	ミックス	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
59	萌え・ギャル系	和風	和風	和風	和風	草履	和風
60	混在系	洋風	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
61	混在系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
62	混在系	和風	和風	和風	洋風	ブーツ	洋風
63	ストリート系	ミックス	洋風		洋風	ブーツ	洋風
64	混在系	和風	洋風		洋風	ブーツ	洋風
65	混在系	和風	和風		和風	草履	和風
66	混在系	ミックス	和風		和風	草履	和風

グ・足元・頭と組み合わせた時のコーディネートについて観察して分析項目を設定している。

予備調査①②と裏付け調査からは「和」「洋」という言葉が頻繁にでていたが、その意味を追究していくと非常に曖昧であることが理解できた。例えば、着物については、「和」柄と「洋」柄の区別はつき難く、着用する消費者にカタログやサンプルを提示した際に、その判断基準については各自の印象であることが読み取れた。また先に上げた媒体でも【和洋ミックスコーデ】【和洋MIX】【洋アイテム】【日本伝統のアイテム】等の「和」「洋」という言葉が多様に使われているが、それを見る側には明確な境界線がないことが調査の結果から理解できた。

以上のような予備調査①②と裏付け調査を経て、分析項目を「和風」「洋風」「ミックス」とした。分析項目を「和」ではなく「和風」としたのは、田中千代の『服飾事典』⁴⁸⁾の「洋風(欧米風)、外国風などに対し、日本風という意味」を基にしている。この記述では、「ものの形式や雰囲気は日本風であること、また日本的なものを特に強調していることをいう。主に、建築、家具、装飾などについていわれることが多い。欧米の文明がもたらされて以来、日本人の衣食住の生活様式が国際化し、純粋に日本的なものが少なくなったことから種々のものについて、特に和風ということがいわれるようになった」とされている。「和風」に相反する項目を「洋風」

とし、「和風」「洋風」の雰囲気を合わせもっているものを「ミックス」と設定した。

データ化は、着物・袴・バッグ・足元・頭それぞれについて「和風」「洋風」「ミックス」の項目を当てはめて行っている。例えば「和風」は、着物・袴・バッグについては日本の伝統を感じさせる柄と色合いで、バッグについては若い女性が和装売り場で展開されていると推測できるものとした。足元・頭は華美な装飾が施されていない草履と足袋、髪型と髪飾りとした。「洋風」は、着物・袴についての柄では、桜などの日本の伝統的な花模様ではなく、バラなどの欧米をイメージさせる洋服に用いられるような柄や色合い。バッグ・足元も洋服で用いる服飾雑貨としている。頭は、巻き髪や髪色も日本人らしくない印象のものである。「ミックス」は、着物・袴についてはどちらの要素も取り入れた表現で、足元については草履を履いていても足袋が洋服に用いられるような柄やレースであるなどが例である。着物・袴・バッグ・足元と頭のそれぞれのアイテム毎に分析することにより、着物・袴以外のコーディネートを選択について媒体で使われていた【和洋ミックスコーデ】【和洋MIX】などの要素をどのように取り入れているかの実態が理解できる。

日頃の装いのクラスター分析は、2007年から実施している「ファッション系女子学生のファッション意識に関するアンケート調査」を基にして分類を行っている⁴⁹⁾。クラスターは、「ストリート系」「萌え・ギャル系」「ゴスロリ系」「モード系」「ノンポリ系」「混在系」の6分類である⁵⁰⁾。クラスター毎に袴の装いの特異性について考察する。

5-3. 研究結果

(1) 2014年3月卒業生を対象としたカタログ分析

①構成・編集についての分析

カタログの構成は、カタログの見出し、キャッチ・コピー、頁数を記載して、掲載されてい

る袴スタイルに通し番号をつけてそれぞれの着物、袴、バッグ、足元、頭について分析している。構成の分類は、【WA Japanese Hakama Style】【大正ロマンに思いを馳せて】などの日本を想起させるものを<日本>とする。【レンタル袴の選び方】【袴カラーで選ぶ！ベストコーデ35style大公開！】などの商品の選び方やコーディネートの方の解説などの紹介を示唆しているものをファッション雑誌の表記にならない<How to>とする。maomaoやAlisaなどの著名人やモデルなどの個人名称を提示したものを<人物>とし、【The Sweet Happy Day】【Moden&Girlyな乙女ハカマ術大公開！】などのファッション雑誌で使われているファッション感覚を示すものを<ファッション・テイスト>としている。<ファッション・テイスト>のテイスト (taste) とは、「顧客の審美眼、趣味、嗜好」のことで、ファッション分析で用いる場合は、かもしだされる雰囲気とか趣味とかセンスといった感じの身近な使い方をすることが多い⁵⁰⁾。何かの言葉と組み合わせることで、その意味合いを深めたり、イメージさせたりするアパレル産業界でもよく用いられる単語である。4つの分類にあてはまらないものを<その他>として頁数から換算した構成比を示した(表8)。

【はかま】は、ファッション・テイスト12頁/日本8頁/その他6頁/人物3頁の順で、特徴的なのは【The Sweet Happy Day】【甘々プリティ】【爽快クール】【個性派インパクト】などのファッション雑誌で見られるような文言が多く、(図20)⁵¹⁾のようにファッション・テイスト別に袴スタイルを比較して紹介している。「卒業時装」は、ファッション・テイスト14頁/日本8頁/人物4頁の順で、<ファッション・テイスト>と分類した文言の中に日本を想起させる言葉を合わせて使っている。例えば、【Moden&Girlyハカマ術大公開！】では、<ファッション・テイスト>は“Moden&Girly”、<日本>を想起させる言葉は“ハカマ”である。“ハ

「カマ」とカタカナを使用していることは、ファッション雑誌という造語のような意味を提供しているのではないかと推測できる。【和エレガントでクールに決める 百花繚乱】では、ファッション・テイストは“エレガント”“クール”で、日本を想起させる言葉は“和”“百花繚乱”である。【Hakama】では、How to 15 頁 / 日本 12 頁の順で、【レンタル袴の選び方】【袴カラーで選ぶ！ベストコーデ 3 5 style 大公開！】などの袴の着こなしについてのマニュアルを紹介している（図 21）⁵²⁾。【笑顔あふれるハピネス袴コレクション】のキャッチ・コピーは“gorgeous”“Dressy”“Elegant”などのファッション・テイストを使っていることも注目すべき点である。

3 冊のカタログについての合計ページ数は 82 頁で、其の内訳分類は、日本 28 頁 / ファッション・テイスト 26 頁 / How to 15 頁 / 人物 7 頁 / その他 6 頁である（表 9）。日本を想起させる単語として“袴”という単語が一番多い結果は納得できる。その他の特徴として“大正ロマン”“百科繚乱”“袴浪漫”などの現代の袴スタイルのトレンドと推測できる単語が使われている。袴スタイルの流行が、大正時代、レトロ感覚であることは（図 22）^{53) 54) 55)} のようにその時代に流行った柄や色を基に発想したと考えられるカタログの袴スタイルの掲載からも理解できる。＜How to＞については、前述したように袴の選び方やコーディネート仕方以外にヘアスタイルやメイクの紹介もある（図 23）⁵⁶⁾。＜人物＞については、著名人やモデルを起用し、「はかま」は浅田真央を起用して【maomao】とキャッチ・コピーをつけ、【卒業時装】の【Alisa style】は、モデルの浦浜アリスを丸昌イメージ・キャラクターとして掲載している。

以上の結果をまとめると、コーディネート仕方の紹介、ファッション・テイストを用いた表現、著名人やモデルの起用、流行を捉えて掲載されている袴スタイルの表現は、女子学生が、

表 8 カタログの構成比

【はかま】

分類	頁数	割合 (%)
ファッション・テイスト	12	41
日本	8	28
その他	6	21
人物	3	10
How to	0	0
計	29	0

【卒業時装】

分類	頁数	割合 (%)
ファッション・テイスト	14	54
日本	8	31
人物	4	15
How to	0	0
その他	0	0
計	26	100

【Hakama】

分類	頁数	割合 (%)
How to	15	56
日本	12	44
人物	0	0
ファッション・テイスト	0	0
その他	0	0
計	27	100

日頃手にしているファッション雑誌と同様の構成や表現であるといえる。

②項目別の分析

カタログ別に「和風」「洋風」「ミックス」で分析したデータが（表 10）である。バッグを着装したサンプル数は少ないため着物、袴、足元、頭とした。着物については、「はかま」では「和風」25 / 「洋風」4 / 「ミックス」8、【卒業時装】では「和風」24 / 「洋風」6 / 「ミックス」4、【Hakama】では「和風」27 / 「洋風」8 / 「ミックス」13 と「和風」の着物が多い。「和風」



図20 ファッション・テイスト別掲載事例
『はかま』より転載



図21 <How to>に分類した掲載の事例
『Hakama』より転載

表9 『はかま』『卒業時装』『Hakama』3冊合計の構成比

分類	頁数	割合 (%)
日本	28	34
ファッション・テイスト	26	32
How to	15	18
人物	7	9
その他	6	7
計	82	100

とした着物の特徴としては、色合いは、日本を連想させるような柔らかな色や落ち着いた色のある赤、柄については、日本を代表する花である桜を使用したものが多くみられた。袴については、『はかま』では「和風」30/「洋風」7/「ミックス」0、『卒業時装』では「和風」32/「洋風」2/「ミックス」1、『Hakama』では「和風」43/「洋風」5/「ミックス」0と圧倒的に「和風」の袴が多い。「和風」の袴では、えんじや紺、濃い緑などの落ち着いた色合いで無地のものが

表10 カタログごとの項目データ分析

カタログ	項目	分類	数
はかま	着物	和風	25
		洋風	4
		ミックス	8
	袴	和風	30
		洋風	7
		ミックス	0
	足元	和風	28
		洋風	9
		ミックス	0
	頭	和風	7
洋風		30	
ミックス		0	
卒業時装	着物	和風	24
		洋風	6
		ミックス	4
	袴	和風	32
		洋風	2
		ミックス	1
	足元	和風	21
		洋風	13
		ミックス	0
	頭	和風	0
洋風		34	
ミックス		0	
Hakama	着物	和風	27
		洋風	8
		ミックス	13
	袴	和風	43
		洋風	5
		ミックス	0
	足元	和風	28
		洋風	20
		ミックス	0
	頭	和風	17
洋風		31	
ミックス		0	



(1)



(2)

(3)

図22 「大正時代」、「レトロ感覚」のイメージを基にした掲載の事例

(1) (2) 『卒業時装』より転載

(3) 『Hakama』より転載



図23 ヘスタイル、メイクの掲載事例
『Hakama』より転載



(1) 毛先をカールしたアップスタイル

(2) 毛先をカールしたハーフアップ

(3) 洋花の髪飾り

図2-4 カタログにみられる「洋風」の髪型の事例

- (1) 『はかま』より転載
- (2) 『Hakama』より転載
- (3) 『卒業時装』より転載

多く、柄物では鹿の子柄のものもみられた。足元については『はかま』では「和風」28/「洋風」9/「ミックス」0、『卒業時装』では「和風」21/「洋風」13/「ミックス」0、『Hakama』では「和風」28/「洋風」20/「ミックス」0で「和風」はすべて白足袋と草履、「洋風」はブーツである。ブーツは、編み上げのものがほとんどで、色は黒、次いで茶色が多い。頭については、『はかま』では「和風」7/「洋風」30/「ミックス」0、『卒業時装』では「和風」0/「洋風」34/「ミックス」0、『Hakama』では「和風」17/「洋風」31/「ミックス」0と(図24)⁵⁷⁾⁵⁸⁾⁵⁹⁾のような、毛先をカールさせたアップスタイルや、ハーフアップスタイルが多くみられた。カタログにおいては、すっきりとまとめた髪型より、毛先を遊ばせたスタイルや、大きな花飾りを用いたボリュームのある華やかなスタイルが目立った。

着物、袴、足元、頭の組み合わせでは、『はかま』『卒業時装』『Hakama』すべてで、着物は「和風」/袴は「和風」/足元は「和風」/頭は「洋風」の着装は多く、3カタログ全体で集計すると119サンプル中37サンプルと他と比較すると圧倒的に多い(表11)(図25)⁶⁰⁾⁶¹⁾。着物に注目すると次に「ミックス」/袴は「和

風」が多く、足元と頭は「和風」「洋風」と別れる(図26)⁶²⁾⁶³⁾。「洋風」の着物の提案は少ない結果となった。

(2) 学生における袴の着装の分析

①全体の傾向分析

5-3 (1) ②にならない本学学生の着装を分析したのが(表12)である。5-3 (1) ②の分析と比較すると、着物では「和風」44/「洋風」11/「ミックス」11、袴では「和風」56/「洋風」10/「ミックス」0、足元では「和風」28/「洋風」37/「ミックス」1、頭では「和風」33/「洋風」33/「ミックス」0と、着物と袴はカタログ分析と同様に「和風」が多い結果となった。一方足元は、本学では「洋風」が多く、その内容は37人中34人がブーツを着用している(図27)。ブーツについては、大野ら『振袖&袴の大正着物帖』では、『はいからさんが通る』の影響だったと記述している⁶⁴⁾。このヒロインの着物スタイルを大学の卒業式に着る人が増えたのが80年頃からで、今も根強くそのスタイルが一般化しているとしている。本学学生のプレーストリーミングでは、「ハイカラさんになりたかった」と、この漫画のことを示したコメントやブーツを選ぶことに抵抗は全くない様子がか

表 1 1 カタログにおける着物、袴、足元、頭の組み
合わせ分析

〔はかま〕

着物	袴	足元	頭	数
和風	和風	和風	洋風	14
和風	和風	和風	和風	4
和風	和風	洋風	洋風	4
ミックス	和風	和風	和風	2
ミックス	和風	和風	洋風	2
洋風	和風	和風	洋風	2
ミックス	和風	洋風	洋風	2
ミックス	洋風	和風	洋風	2
和風	洋風	洋風	洋風	2
和風	洋風	和風	洋風	1
洋風	洋風	洋風	洋風	1
洋風	洋風	和風	和風	1
計				37

〔Hakama〕

着物	袴	足元	頭	数
和風	和風	和風	洋風	10
和風	和風	洋風	洋風	5
和風	和風	和風	和風	5
洋風	和風	和風	洋風	5
和風	和風	洋風	和風	4
ミックス	和風	和風	洋風	3
ミックス	和風	洋風	洋風	2
ミックス	和風	洋風	和風	2
ミックス	和風	和風	和風	2
ミックス	和風	洋風	洋風	2
和風	洋風	和風	洋風	1
和風	洋風	洋風	和風	1
ミックス	洋風	和風	洋風	1
ミックス	洋風	洋風	洋風	1
和風	洋風	和風	和風	1
洋風	洋風	洋風	和風	1
洋風	和風	洋風	洋風	1
洋風	和風	洋風	和風	1
計				48

〔卒業時装〕

着物	袴	足元	頭	数
和風	和風	和風	洋風	13
和風	和風	洋風	洋風	10
ミックス	和風	和風	洋風	4
洋風	和風	洋風	洋風	2
洋風	和風	和風	洋風	2
和風	ミックス	和風	洋風	1
洋風	洋風	洋風	洋風	1
洋風	洋風	和風	洋風	1
計				34

〔はかま〕〔卒業時装〕〔Hakama〕のカタログ3冊の合計

着物	袴	足元	頭	数
和風	和風	和風	洋風	37
和風	和風	洋風	洋風	19
和風	和風	和風	和風	9
ミックス	和風	和風	洋風	9
洋風	和風	和風	洋風	9
ミックス	和風	和風	和風	4
ミックス	和風	洋風	洋風	4
和風	和風	洋風	和風	4
ミックス	洋風	和風	洋風	3
洋風	和風	洋風	洋風	3
和風	洋風	洋風	洋風	2
和風	洋風	和風	洋風	2
洋風	洋風	洋風	洋風	2
ミックス	和風	洋風	和風	2
ミックス	和風	洋風	洋風	2
洋風	洋風	和風	和風	1
和風	ミックス	和風	洋風	1
洋風	洋風	和風	洋風	1
和風	洋風	洋風	和風	1
ミックス	洋風	洋風	洋風	1
和風	洋風	和風	和風	1
洋風	洋風	洋風	和風	1
洋風	和風	洋風	和風	1
計				119



図25 着物、袴、足元、頭において最も多い組み合わせの事例
 (1) 『Hakama』より転載
 (2) 『はかま』より転載



(1) 足元は「和風」 頭は「洋風」
 (2) 足元は「洋風」 頭は「洋風」

図26 「ミックス」の着物と「和風」の袴の組み合わせの事例

- (1) 『Hakama』より転載
 (2) 『卒業時装』より転載

表12 学生の全体傾向

項目	分類	人数(人)		
着物	和風	44		
	洋風	11		
	ミックス	11		
袴	和風	56		
	洋風	10		
	ミックス	0		
バッグ	和風	40		
	洋風	9		
	なし	17		
足元	和風	28		
	洋風	ブーツ	34	37
		その他	3	
	ミックス	1		
頭	和風	33		
	洋風	33		
	ミックス	0		

がえた。現代の袴スタイルにブーツを合わせる着装は、一般化、定番化と言えるのではないかと考えられる。ブーツの種類については、『はいからさんが通る』のヒロインの装いにならった編み上げが多く、色は黒が圧倒的に多く、茶色が次に続く。編み上げブーツの長さは、特に傾向は見られず、ブーツの長さとの袴の長さについて特にこだわっている様子も伺えない。頭はカタログでは「洋風」が多かったが、本学学生は「和風」と「洋風」が同数という結果に至った。「和風」の頭は、小さくまとめたすっきりしたまとめた髪や毛先をカールなどで遊ばない



図 27 着用しているブーツの事例



図 28 「和風」の頭の事例

(1) 毛先をカールしている髪型

髪型を好む学生がみられる (図 28)。「洋風」については、カタログと同様な髪形と髪飾りを用いている (図 29)。その他、大きなリボンをつけている学生が目立った (図 30)。組み合わせでは、着物は「和風」、袴は「和風」が多く、足元と頭は「和風」「洋風」の組み合わせが主流であり、カタログの提案とはほぼ同様といえる結果となった (表 13)。

② クラスター別分析

クラスター別の分析は前述した先行研究を基にして、日頃の装いをクラスター分析した (表 7) を集計した (表 14)。集計した結果は「混在系 33%」「萌え・ギャル系 24%」「ノンポリ系 23%」「ストリート系 15%」「ゴスロリ系 3%」「モード系 2%」となった。本学学科の学生のファッション志向は、固いポリシーを持ってフ



(2) 髪飾りが洋花

図 28 「和風」の頭の事例

ァッション商品を選んでいるというよりは、いろいろなテイストを混ぜ合わせてコーディネートしている学生が多いという結果になっている。流行を自分なりにとりいれてお洒落を楽しむ

む本学の学生の属性が見えてくる。

各クラスター別の分析では、サンプル数が少ない「モード系」「ゴスロリ系」は排除し、「混



図30 大きなりボンの髪飾りの事例

表13 学生における着物、袴、足元、頭の組み合わせ分析

着物	袴	足元	頭	数
和風	和風	洋風	和風	10
和風	和風	和風	洋風	10
和風	和風	和風	和風	9
ミックス	和風	洋風	洋風	5
洋風	和風	洋風	洋風	5
和風	和風	洋風	洋風	4
洋風	和風	洋風	和風	4
和風	和風	洋風	洋風	3
和風	洋風	洋風	和風	2
和風	洋風	和風	洋風	2
和風	洋風	和風	和風	2
ミックス	和風	和風	和風	2
洋風	和風	和風	洋風	1
ミックス	和風	洋風	和風	1
洋風	洋風	洋風	和風	1

在系」「萌え・ギャル系」「ノンポリ系」「ストリート系」について袴の装いの特異性の特徴を述べていく。

「混在系」では、「和風」「洋風」を組み合わせたコーディネートが主流で、全体傾向と同様に着物と袴に「和風」をとりいれている(図31)。「混在系」は、「ストリート系」と「萌え・ギャル系」の良いところを取って装うファッション・テイストのクラスターで「渋原系」やファッション雑誌のすみ分けがなくなってきた2010年頃から急速にのびてきたクラスターである⁶⁵⁾。近年では、この「混在系」クラスターが細分化する傾向にある。流行を取り入れて自分の好みを上手く取り入れる層と、日頃の装い

表14 クラスターごとの分析

クラスター	項目	分類	人数(人)	
混在系 22人 33%	着物	和風	13	
		洋風	5	
		ミックス	4	
	袴	和風	18	
		洋風	4	
		ミックス	0	
	バッグ	和風	15	
		洋風	1	
		なし	6	
	足元	和風		6
			ブーツ	15
		洋風	その他	1
			ミックス	0
	頭	和風	9	
		洋風	13	
ミックス		0		
萌え・ギャル系 16人 24%	着物	和風	11	
		洋風	3	
		ミックス	2	
	袴	和風	15	
		洋風	1	
		ミックス	0	
	バッグ	和風	9	
		洋風	2	
		なし	5	

	足元	和風	9		
			洋風	ブーツ 7	7
		その他 0			
	ミックス	0			
	頭	和風	7		
		洋風	9		
		ミックス	0		
	ノンポリ系 15人 23%	着物	和風	12	
			洋風	0	
			ミックス	3	
袴		和風	13		
		洋風	2		
		ミックス	0		
バッグ		和風	9		
		洋風	4		
		なし	2		
足元		和風	9		
	洋風		ブーツ 6	6	
		その他 0			
ミックス	0				
頭	和風	10			
	洋風	5			
	ミックス	0			
ストリート系 10人 15%	着物	和風	6		
		洋風	3		
		ミックス	1		
	袴	和風	8		
		洋風	2		
		ミックス	0		
	バッグ	和風	7		
		洋風	1		
	なし	2			
	足元	和風	3		
	洋風	ブーツ	5	6	
		その他	1		
	ミックス	1			
	頭	和風	5		
		洋風	5		
ミックス		0			
ゴスロリ系	2人 3%				
モード系	1人 2%				



図 3 1 混在系/主流となっている着物と袴は「和風」の着装事例

や他学生からの評価で「お洒落さん」と称され、広い視野でファッション情報収集を積極的に行っている層である。前者の袴の装いは、(図 32) のように例えば袴の選択が、山本寛齋の「Kansai」や伊達袴を何枚も重ねていたりなどのこだわった装いが目立つ。後者の袴の装いは、一般にみられる袴の長さでの着用の仕方ではなく、足元の見え方を考えて着こなしをしている様子がうかがえる。(図 33) は、袴の長さを短めに着装している事例である。

「萌え・ギャル系」は、足元の分析では「和風」が「洋風」より多かった。特徴は、(図 34) のように、通称ギャル・ファッションと称される非常に奇抜でデコラティブ、可愛いアイテムを沢山用いてコーディネートするようなスタイルと(図 35) のように髪をまとめて白足袋に草履などの「和風」の印象が強いアイテムを用いて、全体にスッキリした印象を感じる装いに 2 分化される。頭は(図 36) のように古典的な髪型である等、他のクラスターには見られない点で注目できる。日頃の装いでもファッションへの関心が強く、流行を牽引しているこのクラスターにとって、「和風」というキーワード、



(1) 「Kansai」の袴 (2) 何枚も重ねた伊達袴

図32 混在系／自分の好み、こだわりを取り入れている着装事例



図33 混在系／足元の見え方(袴の長さを短めに着用)にこだわった着装事例



図34 萌え・ギャル系／奇抜でデコラティブなアイテムを用いている着装事例



図35 萌え・ギャル系／「和風」の印象が強い着装事例

古典的な装いをするのが、新鮮であると推測できる。

「ノンポリ系」は、着物・袴・頭は「和風」、足元は「洋風」と現代の袴スタイルの流行を反映する結果となっている(図37)。日頃の装いでも、特に目立った着装は好まないこのクラス

ターでは、着物の選択は、古風な伝統的な古典柄が多く、袖も振り袖などの長い袖より短めの袖が多く、全体に上品でおとなしい印象の着こなしが多い(図38)。足元では、「洋風」15人中6人がブーツで、ブーツが一般化している



図 3 6 萌え・ギャル系／古典的な髪型の事例



図 3 7 ノンポリ系／現代の袴スタイルの流行を反映した着装事例



図 3 8 ノンポリ系／おとなしめの着装事例

実態が読み取れる。他のクラスターと比較すると、特に奇抜な又は個性が強くなるアイテムを選択している様子は何えない。

「ストリート系」は、「洋風」を多く取り入れている足元についてブーツ以外にローファーや柄足袋、レース足袋等の他の学生が取り入れているアイテムを合わせる特徴的な事象がある(図 39)。この傾向は、スポーツバッグやベレー帽を合わせる等と同様に特異性がある(図 40)。着物や袴は、特に際立った特徴が見られ

ないが、バッグや足元、ヘアー・アクセサリーなどは日頃身につけているアイテムを袴スタイルに合わせている様子は何える。これらのアイテムは、袴スタイルのために用意したアイテムではないと推測できる。

5-4. 考察

今回の分析を要約すると二つの事が言える。一つ目は、卒業式の袴の装いについては、「和」 「洋」を取り入れたコーディネートが主流にな



(1) ローファー

(2) 柄足袋

(3) レース足袋

図39 ストリート系/特徴的な足下の事例



図40 ストリート系/スポーツバッグ、ベレー帽を用いた着装事例

っている実態がカタログ及び学生の着装分析から理解できた。また本来は洋服に合わせるブーツは、袴の着装では定番であることも垣間見えた。まだ断片的な資料ではあるが、学生とのブレーストーミングを通して「和」「洋」を取

り入れた装いはまだ継続すると推測している。

二つ目は、袴の着装は洋服の着装と同様に流行を捉えてカタログでは提案され、学生は流行を意識して着装している現象を捉えることができた。2014年3月にNHKで放映された「美の壺 卒業式の着物」では、大正浪漫を思わせる装いを新しいトレンドとして取り上げている。カタログや今回用いた文献では「レトロ」というキーワードで提案されている着物やコーディネートである。日頃の装いでファッションに大変興味があり、お洒落であると認識されている学生がこの要素を取り入れた袴の装いをしていたことからトレンドであると推測できる(図41)。一方、伊達襟を何枚も重ねる、いくつもアクセサリをつける、大きな装飾性のある髪飾りなどの華やかな装飾をしない袴の装いはまだあまり一般化していないが新しい着こなしであると言える。

これらのことから、女子学生の袴の装いは、卒業式という場面を楽しむための日頃の着装と同様のファッションとしての概念で捉えているのではないかと考えられる。換言すると着物・袴は、日頃選択しているアイテムと同様の着装のための品種の一つであり、自身の志向を基にして多種多様な商品の中から選択してコーディネートしている。長年研究している消費者志向、流行、トレンド情報等が重要な基盤となっているファッション市場における商品選択と同じ現象である。



図 4 1 袴のトレンド要素を取り入れた着事例

6. まとめ

25 年度被服学科の卒業式に見る袴姿は、華やかであり個性を表現するファッションとしてとらえていることが明らかとなった。また正統派といわれる袴のコーディネートや伝統的着装様式の統一はほとんど見られない傾向であった。

今後両研究室では以下のように共同で研究を進めていくことを考えている。まず、本学のように和裁や和服に関する知識を学ぶ場があるにも関わらず、学生に正しい知識が殆ど備わっていない現状は危惧すべき問題である。被服平面造形研究室では、本校で伝統的な和服文化の継承をどのように担い発信していくべきかを早急に検討し提示していくことを課題とする。また卒業式の袴姿は従来の傾向からかなり変化を遂げた。このことについても本学設立 1886 年以来、所蔵されている資料データを時系列に追い、変化した時期とその要因を時代背景と共に解明していく。

被服意匠研究室では、今回導き出した考察をさらに発展するために、まずは来年度に提案さ

れる袴のレンタル情報を分析することを計画している。対象としているのは、大学生協の公式ホームページ⁶⁶⁾が信頼のメーカーとして提示している『晴れの場の丸昌』『ジョイフル恵利』『ハイカラさん』『マイム』『鈴乃屋』から来年度の卒業式での袴の装いの流行予測をして資料収集をしていきたいと考えている。そして卒業式を対象とした袴商品の市場において、ファッション・ビジネスと同様の手法がなりたつかを研究テーマとして上げていきたいと構想している。ファッション・ビジネスにおける企画提案は、消費者の志向とあった商品展開が必須であり、そのために実績とトレンド情報を総合的に判断し商品を提示し検証するプロセスを行う。これに当てはめて女子学生の袴市場について研究を進めていきたい。具体的には、消費者の志向を読み取る女子学生のアンケート調査と袴レンタル等の実績情報が収集可能ならば、両情報を検証しながら、今後の袴の着装のトレンドを発見して予測することを試みていきたい。其のためには、袴商品が消費者の手にもわたる設計・製造・流通プロセスまで踏み込み段階的にまた継続的に研究を進めていきたい。

本年度初めての試みとなった両研究室による本研究から、今後の和服文化の発展につながる情報を発信していきたいと考えている。

注

注 1) 全体に繰り返し模様が施されているものを小紋とする。絵羽模様になっており、袖丈が 75cm 以上の物を振袖とする。肩山や袖山を起点として裾から上向きに絵付けがされているものを附下とする。絵付けによる模様がなく、一色のみで染められているものを色無地とする。田中千代・新・田中千代服飾辞典・同文書院、1991、1)

注 2) 50cm～60cm の袖丈を普通袖、75cm 前後の袖丈を小振袖、108cm 以上の袖

- 文を大振袖とする。(社)全日本きもの振興会.ひと目でわかるきもの用語の基本.世界文化社,2008
- 注 3) 人間が被服を着装した状態の意。伊藤紀之.被服デザインの体系.三共出版株式会社,1983,p.8
- 注 4) 装いの全てを統合すること。バランス良く組み合わせること。田中千代.服飾事典(増補版).同文書院,1969,p.282
- 注 5) 心の中に思い浮かべる像、形象の意。新村出.広辞苑第二版.岩波書店,1955,p.151
- 注 6) 2007年から実地している調査分析から、各クラスターについて以下のような概念として分類している。「ストリート系」は、1997頃から始まった裏原宿から発祥したカジュアル・ファッション。「萌え・ギャル系」は、渋谷109で展開されているギャル系ファッション。「ゴスロリ系」は、音楽や映像の影響を受けたマニア性の高いファッション。「モード系」は、東京モードデザイナーのテイストを取り入れた個性あふれるファッション。「ノンポリ系」は、価格で安いことを重視してアイテムを選択するファッション。「混在系」は、「ストリート系」と「萌え・ギャル系」の良いところを取っているファッション。
- 7) 中山麻子・菊池咲絵.いまだき振袖ガールのつくりかた.2013,小学館
- 8) 装道きもの学院.装道きもの学院テキスト講義修課程実技編.装道出版局,1992
- 9) 美しいキモノ.婦人画報社,1972,no.123,p.256-259
- 10) きくちいま.よくわかるきもの着付けと帯結び.PHP研究所,第1版,2009
- 11) 安西千恵子ほか.きもの教.本財団法人民族衣装文化普及協会,1988
- 12) 石躍彩佳「平成25年度卒業論文・卒業制作・演習要旨」共立女子大学家政学部被服学科,p.64 被服平面造形研究室では卒業制作で和服の制作を行っている。2013年度の石躍の卒業生制作では少女コミック「はいからさんが通る」の主人公、花村紅緒の袴姿に憧れを抱き、彼女をイメージした卒業式のコーディネート式を制作した。この漫画は大正時代を舞台にした女学生と陸軍少佐のラブコメディで、ヒロイン紅緒は袴にブーツをはき、自転車に乗るハイカラさんであるという設定である。
- 13) 2013年度卒業式の袴姿からも矢絣模様の着物の着用が見られた。履物に関しても半数近くが編み上げブーツを着用。
- 14) 「お茶の水女子大学百年史」刊行委員会編.お茶の水女子大学百年史.1984,46p
- 15) 国民教育奨励会編.教育五十年史.1922,73p
「明治五年竹橋内の今の文部省の在る処に、校舎を新築して、初めて政府の女学校(東京女学校)が設けられた。当時私はあの辺りを通る毎に、男の着ける縞の袴をはいた、不思議な格好をした女子を見受けたが」
- 16) 山川菊栄.おんな二代の記.東洋文庫,2003,37p
- 17) 130年史編集委員会.跡見学園-130年の伝統と創造.2005,49p

引用・参考文献

- 1) KIMONO 姫.祥伝社,2003
- 2) 七緒.プレジデント社,2004
- 3) いろはにキモノ.ハースト婦人画報社,2012
- 4) キモノスタイル.グラフィス,2013
- 5) 山田さくら 善養寺ススム.カジュアル着物ブック.廣済堂出版,2013
- 6) 大野らふ.振袖&袴の大正ロマン着物帖.河出書房新社,2014

- 18) 11) p20 皇居や青山御所で御前揮毫の栄
 誉
 唐澤富太郎. 日本の女子学生. 日本雄弁
 会講談社, 1958, 205-206p 明治 4 年、
 官中の命により絵画を納品し、翌 5 年
 には皇后の前で揮毫の筆を振ったな
 ど、官中の出入りがあった。
- 19) 難波知子. 学校制服の文化史. 太洋社,
 2012, 53p
- 20) 実践女子学園 100 年史, 32p
- 21) 曙女史. 最近十五年間に於ける東京女学
 生風俗の変遷. 女学世界, 1909.1.1, 9 卷,
 14 号, p121 - 122
- 22) 谷田岡次・小池三枝. 日本服飾史. 光生
 館, 1989, 161p
- 23) 小杉天外. 魔風恋風. 春陽堂, 1903, 5p
- 24) 小栗風葉“青春”. 日本現代文学全集
 . 講談社, 1968, 209p
- 25) 風俗画報. 東陽堂, 348 号, 1906
- 26) 13) に同じ. p 129
- 27) 13) に同じ. p 169
- 28) 渡辺淑子・花房良子. 女子学生服の変遷
 . 被服文化. 1954, 29 号, 椎名米子. 明治
 期の女子学生服. 学苑. 1954, 161 号, 昭
 和女子大学生生活美術学科. 女子学生の服
 装の変遷. 被服文化. 1962, 77 号, 豊原繁
 子・関山か江子. 女子学生、生徒の制服
 について. 東京家政学院大学紀要.
 1966.5 号, 1967, 6 号などが挙げられる。
- 29) 呑山委佐子・都築昌子. 女袴と卒業式の
 服装. 大妻女子大学紀要 - 家政系 - .
 1993, 第 29 号, p33-48
- 30) 29) に同じ。
- 31) 3) に同じ。
- 32) 熊田知恵ほか. 和服 - 平面構成の基礎と
 実際 - . 衣生活研究会, 1992
- 33) 美しいキモノ 240 号別冊付録.Q & A で
 わかるきもの冠婚葬祭. 婦人画報社,
 2012, p.40-46
- 34) 宮武恵子・橘喬子. 女子学生のファッシ
 ョン雑誌に基づいたファッション意識に
 ついての研究. 日本家政学会第 56 回大
 会. 2004
- 35) 岡本正大・水谷米博・小野幸一・中澤裕
 子・孫珠熙・篠崎文子・村尾満弘・宮武
 恵子. ファッション系女子学生のファッ
 ション意識に関するアンケート調査. フ
 ァッションビジネス学会全国大会, 2010
- 36) 岡本正大・宮武恵子. 女子学生のファッ
 ション意識 - クラスター分析 -. ファッ
 ションビジネス学会全国大会, 2011
- 37) 岡本正大・宮武恵子. 女子学生のファッ
 ション意識 - クラスター分析 -. ファッ
 ションビジネス学会全国大会, 2012
- 38) 37) に同じ。
- 39) はかま. 主催マイム協賛ハクビ, 2013
- 40) 卒業時装. 丸昌, 2013
- 41) Hakama. 鈴乃屋, 2013
- 42) 宮武恵子. 感性人類学を基盤にした「参
 与観察」手法. 日本感性工学学会研究部
 会, 2008
- 43) 5) に同じ。
- 44) 7) に同じ。
- 45) 6) に同じ。
- 46) KIMONO 姫①②③⑧. 株式会社祥伝社,
 2003
- 47) KIMONO 姫⑧. 株式会社祥伝社, 2008
- 48) 田中千代. 服飾事典 (増補版). 同文書
 院, 1975, p.947
- 49) 宮武恵子. 消費者インサイトと感性工学
 . 第 3 回日本感性工学学会関西支部,
 2013
- 50) 新ファッションビジネス基礎用語辞典 <
 増補改訂版 >. 光琳社出版 (株), 1999
 p.935
- 51) 39) に同じ. P.27-29
- 52) 33) に同じ. P.16-17、p.26-27
- 53) 32) に同じ. P.8-9
- 54) 32) に同じ. P.22
- 55) 33) に同じ. P.4

卒業式に見る袴の現代的着装の研究 I

- 56) 33) に同じ。 P.18-19
- 57) 31) に同じ。 P.23
- 58) 33) に同じ。 P.25
- 59) 32) に同じ。 P.24
- 60) 33) に同じ。 P.12
- 61) 31) に同じ。 P.27

- 62) 33) に同じ。 P.33
- 63) 32) に同じ。 P.5
- 64) 6) に同じ。
- 65) 36) に同じ。
- 66) 大学生協ホームページ <https://www.univ.coop/prev/hakama/>